

平成 18 年 3 月 23 日
筑 波 大 学

学群改組計画の正式決定について

筑波大学では、学群改組を法人化後の最重要課題の一つとして位置づけ、今期中期計画にその実施を掲げて、全学的体制のもとで検討を進めてきましたが、この度、平成 18 年 3 月 23 日に設置報告書を文部科学省へ提出しましたので、お知らせします。

(本件は、昨年 7 月 21 日に公表いたしました改組案が、上記設置報告書の提出をもって正式に決定したことをお知らせするものです。)

1. 改組の実施時期

平成 19 年 4 月改組、同時に学生受入

(平成 18 年度以前の入学者は、引き続き現行の学群・学類に在籍)

2. 新たな学群・学類の編制(別紙参照)

- (1) 第一学群、第二学群、第三学群及び図書館情報専門学群を、人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群、理工学群及び情報学群に改組
- (2) 医学専門学群は、現行の 2 学類を 3 学類とするとともに、学群名称を医学群に改称
- (3) 体育専門学群及び芸術専門学群は、名称・編制ともに現行を維持
- (4) 上記により、現在の 7 学群 15 学類を、9 学群 23 学類に改組

3. 学群改組の目的と特色

- (1) 本学の学群・学類による教育システムは、既存の学問分野を超えた自由度の大きい教育サービスの提供等を通じ、学生の幅広い興味・関心に応えるとともに、確かな専門性と広い視野、柔軟な思考力を持った人材の育成に重要な役割を果たしてきました。

この度の学群改組は、このような本学の教育システムの特色を活かし、学問の進展や社会的要請の変化を踏まえた上で、教育内容の一層の充実を図るとともに、受験生や社会にとってわかり易い編制としたものです。

改組後の学群は、学問分野的に近い学類の集まりとして構成され、学問分野の名称を冠しつつも、文理融合を含む広範な学問分野をカバーしており、学際性と専門性の両方に配慮した編制となっています。

(2) 学問的に近い学類が一つの学群を構成することによって、各学群において学類間の共通科目やコア的な科目を設定するなど、教育内容がさらに豊かなものとなっており、学類間の連携や学類を超えた相互履修などもさらに促進されるしくみとなっています。

また、従来どおり学群間の垣根も低くし、学群の枠を超えた履修や、入学後の学生の志望の変化による所属学群・学類の変更についても、適切な指導のもと、柔軟な対応を可能としています。

(3) 平成14年に筑波大学と図書館情報大学との統合により設置した図書館情報専門学群と、第三学群情報学類を一つの学群に編制し、「情報学群」とします。それぞれが培ってきた学問的成果や伝統を継承し発展させるとともに、それらの融合により、進展著しいネットワーク情報社会を支えるコンテンツと情報メディアに着目した「情報メディア創成学類」を新設するなど、文理融合型の特色ある情報系の学群としてさらなる発展を目指しています。

4. 今後の予定

(1) 春の進学説明会

日 程：平成18年3月27日(月)～3月30日(木)

場 所：筑波大学東京キャンパス(文京区大塚)

主 催：理工系学群・学類

(2) 大学説明会

日 程：平成18年7月26日(水)～7月28日(金)

場 所：筑波大学筑波キャンパス

主 催：全学群・学類

(3) 入学試験日程

事 項	試験の種類	推薦入学	個別学力検査等	
	アドミッションセンター入試 第 期		前期日程	後期日程
募集要項発表時期	6月下旬	9月下旬	9月下旬	
願書受付	9月11日(月)	11月1日(水)	1月29日(月)	
	9月13日(水)	11月7日(火)	2月6日(火)	
入学試験日	10月10日(火)	11月28日(火)	2月25日(日)	3月12日(月)
	10月20日(金)	11月29日(水)	2月26日(月)	

問い合わせ先：筑波大学総務・企画部広報課

電話 029-853-2040

FAX 029-853-2014

新たな学群・学類の編制

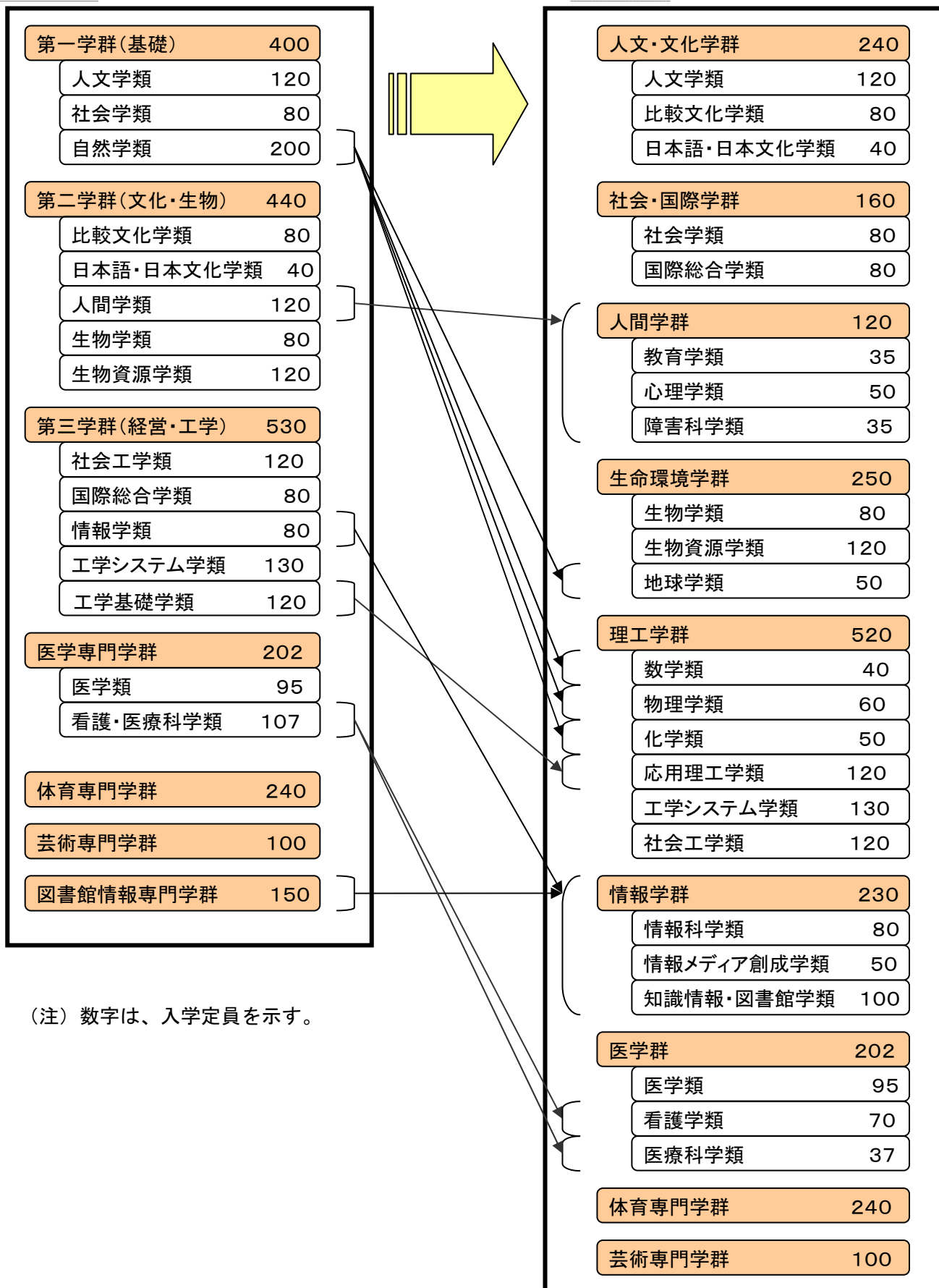
2007年4月設置・学生受入

現行

計 2,062

改組後

計 2,062



(注) 数字は、入学定員を示す。

筑波大学では、平成19年4月から学群・学類を改組します。
従いまして、平成19年度入学試験は改組後の組織ごとに下記のとおり募集します。

平成19年度入学試験募集人員

学群・学類名		入学定員	募 集 人 員				
			個別学力検査等		アドミッションセンター 入試		推薦入学
			前期日程	後期日程	第 期	第 期	
人文・文化学群	人文学類	120名	70名	17名	5名	-	28名
	比較文化学類	80	50	5	5	-	20
	日本語・日本文化学類	40	23	5	2	-	10
	小 計	240	143	27	12	-	58
社会・国際学群	社会学類	80	54	10	-	-	16
	国際総合学類	80	36	16	4	-	24
	小 計	160	90	26	4	-	40
人間学群	教育学類	35	25	-	3	-	7
	心理学類	50	38	-	-	-	12
	障害科学類	35	20	-	-	-	15
	小 計	120	83	-	3	-	34
生命環境学群	生物学類	80	44	18	3	-	15
	生物資源学類	120	63	20	4	-	33
	地球学類	50	35	-	3	-	12
	小 計	250	142	38	10	-	60
理工学群	数 学 類	40	30	-	若干名	-	10
	物 理 学 類	60	45	-	若干名	-	15
	化 学 類	50	35	-	若干名	-	15
	応用理工学類	120	80	20	4	-	16
	工学システム学類	130	80	20	10	若干名	20
	社会工学類	120	70	25	5	-	20
	小 計	520	340	65	19	若干名	96
情報学群	情報科学類	80	48	12	8	-	12
	情報メディア創成学類	50	30	8	4	-	8
	知識情報・図書館学類	100	60	15	5	-	20
	小 計	230	138	35	17	-	40
医学群	医 学 類	95	60	-	-	-	35
	看護学類	70	50	-	-	-	20
	医療科学類	37	25	-	-	-	12
	小 計	202	135	-	-	-	67
体育専門学群	240	148	-	8	-	84	
芸術専門学群	100	60	-	5	-	35	
合 計	2,062	1,279	191	78	若干名	514	



2007.4.

学群・学類の改組

学際性と専門性を調和した

新たな

学群・学類編制へ



筑波大学は、2007年4月 学群・学類を新たにします

筑波大学は、創設以来、従来の制度にとらわれない新しい構想に基づく大学として、数々の先導的な試みを実施してきました。学部で代わる教育組織である「学群・学類」もその一つです。

学群・学類は、学生の幅広い興味・関心に応えることのできる柔軟で自由度の大きい教育システムを特色としており、確かな専門性と広い視野、柔軟な思考力を持った人材を育成していく上で重要な役割を担っています。

本学では、このような特色をさらに発展させ、教育内容の一層の充実を図るために、学群・学類の編制を新たにします。

学際性と専門性の両方に配慮した編制と柔軟な教育システムのもとで、高度化・多様化する人材育成のニーズに的確に対応し、学生の皆さんの志望や適性に即した教育を展開することにより、大学教育に対する社会の期待に応えていきたいと考えています。

本学の位置する筑波研究学園都市は、世界でも有数の知の集積地であり、つくばエクスプレスにより都心と最短45分で結ばれています。首都圏に位置しながら、豊かな自然環境に恵まれた美しく広大なキャンパスでともに学びましょう。



各学群のコンセプト

人文・文化学群

人文系と文化系の学問の豊かな知見と確かな成果を基に、グローバル化する世界も視野に入れながら、優れたコミュニケーション能力を持ち、先見性・創造性・独創性に富み、国際的にも活躍できる卓越した人材の育成を目指します。

生命環境学群

人間を含む多様な生物の生命現象、それを支える地球環境、さらには生物資源の保全や持続的活用に関する総合的探求を通して、豊かな人間性と問題発見・解決能力を養い、国際的視野に立って活躍できる未来創造型の人材の育成を目指します。

医学群

全人的医療を行える良医の育成、広く人類の幸福に貢献し得る看護学関連の人材の育成、医療の向上と発展に貢献する研究者及び高度専門医療職を志向する人材の育成を目標とするとともに、医療のユニフィケーションの実現を目指します。

社会・国際学群

グローバル化や情報化の進展等により生み出される現代社会の諸現象を広い視野から分析して問題のありかを的確に把握し、先見性・独自性に富む解決策を提示できる力を養い、社会の持続的発展を支える人材の育成を目指します。

理工学群

持続可能な社会に必要とされる幅広い教養、論理的かつ柔軟な思考力、実践的技能、基礎から応用に至る確かな専門性を身につけ、広い視野と豊かな人間性をもって知的創造、問題発見・解決の能力を発揮できる人材の育成を目指します。

体育専門学群

体育・スポーツ・健康に関する最新の科学的研究成果を活かしながら、優れた運動技能と幅広い運動経験を持ち、かつ保健体育に関する総合的な知識を備えた、指導力と活力に富む人間性豊かな指導者の育成を目指します。

人間学群

人間、社会、自然に関する幅広い興味と関心を基盤としつつ、人間の発達や支援に関して科学的に分析・理解する態度と専門的な知識や技能を身につけ、これらを活用して実務的な問題を主体的・創造的に解決する能力の育成を目指します。

情報学群

知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動に関わる様々な情報技術とともに、それによって支えられる人間の知的活動とその社会的・文化的基盤を十分に学び、将来をリードすることのできる人材の育成を目指します。

芸術専門学群

総合大学の中に位置づけられた芸術教育の場としての特色を活かし、豊かな感性と知性に支えられた発想力と、柔軟で視野の広い思考力を育てながら、高い創造的能力を備えた美術・デザインの専門家の育成を目指します。

新たな学群・学類の編制

学群・学類名	入学定員	主専攻分野	学位名
人文・文化学群	人文学類	120 哲学 史学 考古学・民俗学 言語学	学士(人文学)
	比較文化学類	80 文学 地域 思想	学士(文学) 学士(比較文化)
	日本語・日本文化学類	40 日本語・日本文化学	学士(文学)
社会・国際学群	社会学類	80 ※10 社会学 法学 政治学 経済学	学士(社会学) 学士(法学) 学士(政治学) 学士(経済学)
	国際総合学類	80 国際関係学 国際開発学	学士(国際関係学) 学士(国際開発学)
人間学群	教育学類	35 教育学	学士(教育学)
	心理学類	50 心理学	学士(心理学)
	障害科学類	35 障害科学	学士(障害科学) 学士(特別支援教育学) 学士(社会福祉学)
生命環境学群	生物学類	80 生物学	学士(理学)
	生物資源学類	120 ※10 生物資源科学	学士(生物資源学) 学士(農学)
	地球学類	50 地球環境学 地球進化学	学士(理学)
理工学群	数学類	40 数学	学士(理学)
	物理学類	60 物理学	学士(理学)
	化学類	50 化学	学士(理学)
	応用理工学類	120 ※10 電子・量子工学 物性工学 物質・分子工学	学士(工学)
	工学システム学類	130 知的工学システム 機能工学システム 環境開発工学 エネルギー工学	学士(工学)
社会工学類	120 社会経済システム 経営工学 都市計画	学士(社会工学)	
	情報学群	情報科学類	80 ※10 ソフトウェアサイエンス 情報システム 知能情報メディア
情報メディア創成学類		50 ※10 情報メディア創成	学士(情報メディア科学)
知識情報・図書館学類		100 ※10 知識科学 知識情報システム 情報経営・図書館	学士(図書館情報学)
医学群	医学類	95 ※5 医学 新医学	学士(医学)
	看護学類	70 ※10 看護学	学士(看護学)
	医療科学類	37 ※3 医療科学	学士(医療科学)
体育専門学群	240 健康・スポーツ教育 健康・スポーツマネジメント スポーツコーチング	学士(体育学)	
芸術専門学群	100 芸術学 美術 構成 デザイン	学士(芸術学)	
合計	2,062 ※73 ※5		

・平成18年度入学者までは、引き続き現行の学群・学類に所属します。
 ・※を冠するものは、第3年度編入学定員です。なお、第3年度編入学については、平成20年度までは現行の学群・学類で学生受入を行います。
 ・*を冠するものは、第2年度編入学定員です。なお、第2年度編入学については、平成19年度までは現行の学群・学類で学生受入を行います。

人文・文化学群は、基礎的な分野の教育を担う人文学類、学際的視点を重視した教育を行う比較文化学類、国際社会の中で日本語及び日本文化の発信を目指す日本語・日本文化学類という、各々独自の特色を有する3つの学類により構成します。

社会・国際学群は、社会科学分野の教育を担う社会学類と、社会科学を中心に、より発展的・応用的な学融合教育を担う国際総合学類により構成します。

人間学群は、現行の人間学類の3主専攻をそれぞれ教育学類、心理学類、障害科学類とし、人間の発達や形成に関わる学問分野を対象とする学群とします。

生命環境学群は、「生命と環境」を共通キーワードとして、生物学類及び生物資源学類と、現行の自然学類地球科学主専攻を前身とする地球学類から構成します。

理工学群は、次の学類から構成します。
 ・現行の自然学類の主専攻を前身とする数学類、物理学類、化学類
 ・科学から技術への総合的理工融合教育を行う応用理工学類(現工学基礎学類)
 ・新しい工学教育の体系を築く工学システム学類
 ・複雑な社会問題を科学的・工学的・政策的に分析する社会工学類

情報学群は、情報や知識に関する幅広い学問領域を総合した特色ある情報系の学群として、情報科学類(現情報学類)、新たに創設する情報メディア創成学類、図書館情報専門学群の教育内容を継承・発展させる知識情報・図書館学類から構成します。

医学群は、現行の医学専門学群の名称を改称するとともに、看護・医療科学類を改組して看護学類及び医療科学類とします。医学類については現行を維持します。

体育専門学群及び芸術専門学群は、名称・編制ともに現行を維持します。

(参考) 現行の学群・学類の編制

- 第一学群
 - 人文学類
 - 社会学類
 - 自然学類
- 第二学群
 - 比較文化学類
 - 日本語・日本文化学類
 - 人間学類
 - 生物学類
 - 生物資源学類
- 第三学群
 - 社会工学類
 - 国際総合学類
 - 情報学類
 - 工学システム学類
 - 工学基礎学類
- 医学専門学群
 - 医学類
 - 看護・医療科学類
- 体育専門学群
- 芸術専門学群
- 図書館情報専門学群

大学説明会のご案内及び学生募集要項等の請求方法

大学説明会

大学入学を志す方を対象に、筑波大学の教育・研究を正しく理解し、適切な進路を選択するための参考に資するため、本学の概要や各学群・学類の特色などを詳細に説明するとともに、学内諸施設等を紹介します。

- 実施日時：平成18年7月26日(水)～7月28日(金)
- 参加方法：申込時期や実施要領などの詳細については、5月下旬に発表します。
- 申込先：〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学学務部入試課
- TEL：029-853-6007 FAX：029-853-6008

平成19年度学生募集要項等の請求方法

入学者選抜の詳細については、「入学者選抜に関する要項」や「学生募集要項」などで公表します。

これらの書類の請求方法は次のとおりです。

- 請求方法：角型2号の返信用封筒に、届け先の郵便番号、住所、氏名を記入し、下記金額分の切手を貼付のうえ、請求先に郵送してください。

「入学案内」とセットでお送りします。(2部以上請求する場合は、事前に照会してください。)

なお、本学あてに送付する封筒の表には、必ず請求する書類名を朱書きしてください。

また、本学(本部棟2階アドミッションセンター窓口)に来学し、直接、請求・受領することもできます。

(土・日曜日、祝休日に来学して受け取る場合には、事前に電話により問い合わせてください。)

書類名	公表時期	貼付切手額	請求先
入学者選抜に関する要項	平成18年7月下旬	390円	〒305-8577
学生募集要項 (推薦入学、個別学力検査等 (前期・後期日程))	平成18年9月下旬	580円	茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学学務部入試課 ■ 電話：029-853-6007
アドミッションセンター (第1期)学生募集要項	平成18年6月下旬	390円	〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学アドミッションセンター ■ 電話：029-853-7386

筑波大学学群入学試験に関するお問い合わせ先

- 筑波大学学務部入試課
- 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
- 電話：029-853-6007 FAX：029-853-6008
- URL <http://www.tsukuba.ac.jp/nyushi/index.html>

